

- 栃木県の課題であると同時に日本の普遍的課題でもある高齢社会を支える人材育成を核とした事業を展開
- 大学が地域拠点となって豊かな高齢社会の構築に創造的にチャレンジし全国モデル「異世代Chainアゴラ」を創出

地域課題(県民調査による)

- 高齢社会に対応した社会制度、インフラ、ソーシャルキャピタルの整備・改善
- 高齢者が培ってきた地域知の継承と異世代間の幅広い住民の交わりの場
- 高齢共生社会を見据えた人材の育成

地域課題の解決及び大学改革の方法

全学生に向けた「異世代Chain教育」: 普遍的課題に創造的チャレンジ

高齢社会を切口に、異世代とつながりながらジェネリックスキルを修得

- 高齢者との対話や協働による異世代間のコミュニケーション能力
- 高齢者・終章を生きることについての基礎知識
- 学んだ知識を基にした課題発見、分析、解決に向けた立案能力
- 課題解決に向けて仲間を集めて具体的に実行できる行動力

学士課程カリキュラムの大幅な改革

幅広い教養と専門教育の融合を実質化

- 21世紀リテラシー必修科目の創設:「とちぎ終章学総論」
- 教養科目の全面再編:テーマ別教養「高齢者社会を生きる」創設
- 副専攻プログラム「Learning+1:高齢者共生社会」の新設
- 専門教育の整理・緩和による「Learning+1」の履修促進

「終章コミュニティワーカー」の養成

- 地域の事業や計画に終章世代の声を代弁するコミュニティ形成人材(平成29年度末までに40名輩出)
- 宇都宮大学が「終章コミュニティワーカー」の履修証明を発行

地域と連携した「異世代Chainアゴラ」の創出

- 宇都宮大学地域連携教育研究センターを拠点に実施体制整備
- 高齢社会・終章世代を支える地域課題解決型の共同研究の実施
- “オールとちぎ”が連携した「とちぎCOC円卓会議」による事業推進



とちぎCOC円卓会議

宇都宮大学、栃木県、宇都宮市、
下野新聞、栃木県社会福祉協議会、宇都宮
市社会福祉協議会、栃木経済同友会

超高齢社会デザインモデルケースとなり得る先進的な地域への変革



異世代Chainアゴラとは
宇都宮大学で全学の教職員や学生が地域と協働し、高齢者共生社会の創出に向けた教育、研究、社会を議論し実践する場。

宇都宮大学を地域拠点とした異世代Chainアゴラの創出